



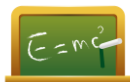
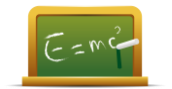
心豊かな人生を



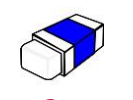
日本には、人を評価するとき、その人が「何を学んだか」ではなく、「どの教育機関の出身者か」という偏った判断をする風潮がありました。ある意味、学歴は自身の努力と能力で手に入れることができるため、階級社会のように最初から結果が決まっている社会とは違い、全員に「受験」という平等な機会が与えられているとも言えます。しかし、学歴だけで人は豊かに生きていけるのでしょうか。



これまでから年齢を問わず、学ぶことの大切さについて、議論がされてきました。学び方は、「独学ですべて習得する」、「大学や専門学校、各種教室を活用して、専門家から学ぶ」など様々ですが、学ぶことで、自分の心が豊かになったり、仕事への活力につながったりします。また、共に学ぶ仲間が増え、お互いがかけがえのない存在として尊敬しあうことで、人と人との絆が深まり、豊かに生きることが出来ます。人生はすべて、常に学びであり、積極的に学ぼうとすることが、豊かな人生を送るために大切ではないでしょうか。



「人生、いつだってこれから。だれにも朝はかならずやってくる」これは、101歳で亡くなられた柴田トヨさんという詩人の言葉です。五十の手習いということわざもあるとおり、学びは、何歳からでも、またどこに住んでいても可能で、やる気さえあれば、すぐに始められます。トヨさんは、98歳の時に詩集「くじけないで」を刊行し、その本は200万部を突破しました。また、映画化もされ、多くの人に感動を与えています。



人生は、まだまだこれからです。

